



2026年度 一般会計補正予算 総額78億5,400万円追加!

北海道議会は、6月17日～7月3日までの18日間の会期で、第2回定例道議会が開催されました。

本定例会では、総額20億8,800万円を追加する一般会計補正予算案など議案16件と意見書案13件、決議案1件を可決し、閉会となりました。提案内容の主なものとして、病院へのICT機器の導入支援や中学校の部活動の地域展開に向けた平日の「部活動指導員配置」に必要な経費などが計上されました。また、中東情勢の悪化に伴う物価高騰の影響を受ける事業者・消費者の支援策として、総額57億円余の緊急補正予算も追加提案されました。

LPガス料金の負担軽減(1契約当たり「2,000円」の値引き支援)や、中小企業向けに1億円を上限とする「資金繰り融資」などが盛り込まれ、本定例会における対策関連総額は78億5,400万円となりました。

わたくしは、本定例会での本会議登壇はありませんでしたが、代表格質問での「防災・減災対策」、「第1次産業の振興(コメ、酪農・畜産対策)」、また、予算特別委員会でも、農政及び総合政策両部の所管事業などを担当し、鈴木知事や関係所管部にそれぞれの見解を質しました。

引き続き、私は自らの政治信条である【命を守る政策】を第一義に、本道の「食と農と環境」を守り抜く様々な取り組みに全力を尽くしてまいります。また、平素よりお声かけや叱咤激励を頂けるたくさんの方々に深い感謝とお礼を申し上げます。

皆さま、いつも本当にありがとうございます。暑さに向かいますが、この先も皆さまの【生の声】を頼りに、道議会議員としての活動を展開してまいります。

Q 子育て家庭への支援の充実について

A 乳幼児等医療費助成について、所得制限の撤廃を本年8月から実施できるように検討を進めています。



Q 原油価格・資材価格高騰による公共工事への影響について

A 資材価格が大きく変動した場合は、契約額を変更する「スライド条項」の適用や工期の延長など、適切に対応します。



Q 軽自動車税の減免措置について

A 軽自動車税は、4月1日段階で各市町村の所有者に対し課税することを地方税法で定めています。普通自動車と同じく「月割制度」でしたが、所有台数・異動台数の急激な増加で賦課・徴収事務の負担が大きくなり、昭和56年に軽自動車の「月割制度」は廃止となりました。しかし、減免措置は天災・公私の扶助など「特別な事情」に該当する場合は、当該市町村長の判断により行われるべきものと認識しております。



Q 本道の米政策の方向性について

A 米の需給と価格の安定に向け、国に対し、需給見通しの精度向上や備蓄米の適切な運用を求めるほか、北海道米の生産性向上や国内外の需要拡大と併せて、生産から流通、消費にいたる各般の施策を総合的に推進し、農業者の所得確保と消費者の理解を得ながら、本道稲作農業の持続的な発展に取り組んでまいります。



くらし応援HOKKAIDO

物価・エネルギー価格の高騰を受け、道では食料品など生活必需品の購入に利用できるポイント等を給付します。

対 象 道内在住の全世帯主

申請期限 2026年11月16日

申請方法

①アプリ申請

案内はがきのQRコードからアプリをダウンロードし、5,500円分のポイントを受け取ります。(ポイント有効期限:2026年12月15日)



②郵送申請

案内はがきの返信部分を返送すると、後日5,000円分のギフトカードが届きます。



物価高騰対策



6月9日、わたくしの所属する会派「民主・道民連合」は鈴木知事に対し、中東情勢の緊迫化による原油価格高騰や資材不足への対策を求める緊急申し入れを行いました。本道は広域分散・寒冷な気候であり、一次産業を基幹産業とする特性から、燃油や石油関連製品の価格上昇・供給不安の影響を受けやすく、道民生活や地域経済への深刻な影響が懸念されています。

申し入れでは、燃油・電気料金・灯油価格高騰への支援拡充をはじめ、農林水産業、医療・介護・福祉、公共交通、中小企業への支援強化、肥料や建設資材の安定供給対策、市町村への財政支援の充実などを要請しました。

また、国に対しても燃料支援制度の拡充や実効性ある物価高騰対策を強く求めるよう要望し、道民の暮らしと地域経済を守るため迅速な対応を求めました。

写真で見るこれまでの道政活動



奥尻町:新庁舎の防災対応など現地視察
(会派:離島政策PT)



奥尻町:公共ライドシェア現地視察
(会派:離島政策PT)



北九州市:響灘火力発電所視察
(エネ特委員会「道外調査」)



広島県:大崎クールジェン視察
(エネ特委員会「道外調査」)



手稲区:北海道医療的ケア児等支援センター視察
(会派:医療政策PT)



札幌市立新陵中学校「校外学習」
(道議会「本会場」見学)

しみずたかひろ

清水 敬弘プロフィール

- 1975年2月4日:オホーツク管内斜里郡清里町で農業を営む両親の長男として生まれる。高校卒業まで、夏は陸上競技、冬はスピードスケートを続け、心身を鍛える。
- 1996年:北海道立農業大学校を卒業後、1年間ドイツ(ヘッセン州ノイホフ)に農業留学。幅広い農業知識と国際的感覚を身につける。帰国後、就農する。
- 2008年:農業団体職員(北見市)
- 2018年:参議院議員 公設秘書(札幌市)
- 2023年:北海道議会議員 初当選
- 所属:(常任)農政委員会 理事
(特別委員会)産炭地域振興・エネルギー調査委員会 理事
会派:民主・道民連合 副幹事長



皆さまのご意見、地域の課題をお寄せください。

清水 敬弘道政事務所

〒006-0022
札幌市手稲区手稲本町2条4丁目1-5 緑稜館
TEL:011-213-8888
FAX:011-213-8841
E-mail:info@shimizu-takahiro.net



日々の活動をSNSでも発信中です!



北海道議会
「会議録」検索



清水たかひろ
ホームページ



清水たかひろ
Facebook



清水たかひろ
Instagram